

地域の安心安全をめざして 和束町防犯ステーション会議

4月15日(火)和束町役場西別館会議室で和束町防犯ステーション会議が開催されました。

防犯ステーションとは平成20年度から京都府と京都府警察本部の共管事業として始まった取り組みで、府内全ての交番・駐在所に設置されています。防犯をはじめ交通安全、防災など地域の安心、安全についての課題解決に取り組めるよう地域の様々な団体が参画した連携組織で交番・駐在所を核として活動されています。



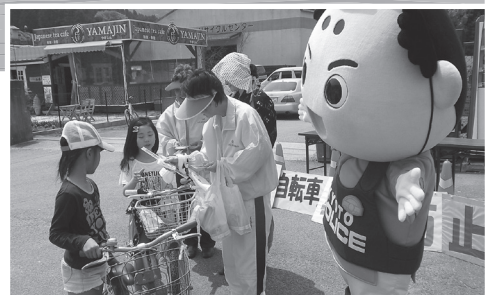
会議では、夏や年末に実施する町内防犯パトロールや小学校の登下校時に行う子供の見守り活動等年間の活動を協議されました。最後に和束交番から振り込め詐欺など特殊詐欺が多発している等の話があり、注意を促していました。



自転車・バイクの事故防止を

5月3日(土)午前11時から正午まで木津警察署署員、相楽地域交通安全活動推進委員、相楽交通安全協会等がゴールデンウィーク期間中における交通事故抑止特別対策の一環として、二輪・自転車利用者が目立つ府道宇治木屋線の白栖橋付近で広報啓発活動を実施しました。

この日は天候にも恵まれ、多くの自転車・バイク利用者が行き交う中、茶娘衣装に着替えた委員さん達が交通安全ガム、新茶、反射リストバンド等の啓発物品を配りながら、事故防止を訴えていました。



通学路等での安全運転のお願い

京都府木津警察署和束交番
和束町交通安全対策協議会

農繁期は、スピードを出して走行する車が多く見られます。通学児童や通行人は危険を感じています。交通事故防止の為、スピードを控えての走行にご協力下さい。

春のおさんぽ

わづかほいくえん

4月7日(月)和束保育園では、今年度はじめてのお散歩で園外に出かけました。

この日は、年長児が年中児の手をつないで歩き、中区祝橋附近の堤防まで出かけました。

途中、小さな子をいたわりながら歩く年長児や、一つ大きい組になってウキウキした様子の年中児のほほえましい様子がうかがえました。

そして満開になった桜の花のトンネルをくぐり「わーきれい」と歓声をあげて喜び、みんなで写真を撮ったり、とても楽しいお散歩になりました。



生活交通体系の構築に向けて

和束町交通手段の確保に関する報告書

4月18日(金)、和束町交通手段確保に関する懇話会が開かれ堀町長に報告書が手渡されました。会議で猪井会長(大阪大学大学院助教)は「委員のみなさまの貴重な意見をまとめたもので、今後の生活交通体系の構築に活かしてほしい。」と述べられました。

7回に渡る会議で、和束町の公共交通の現状や課題、解決案について話し合われ、バス利用者の減少は町の財政負担の増加につながり、維持していくことが難しくなることや、既存路線の見直し・コミュニティバスの運行等社会実験を行うことが提案されました。

今後、この報告書を参考に、路線バス対策協議会や地域公共交通会議において、和束町にあった交通体系の構築を目指します。



ご寄附ありがとうございました

「和束町ふるさと応援寄附金基金」へ次のとおりご寄附をいただきました。(平成26年3月、4月)

氏名	住所	寄附金額
匿名希望	京都府城陽市	5,000円

ありがとうございました。
お寄せいただいた寄附金は、和束町のまちづくりのため有効に活用させていただきます。

